



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 エレコム株式会社
 コード番号 6750 URL <http://www.elecom.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 葉田順治

問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部 部長代理 (氏名) 中島洋

TEL 06-6229-1418

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	78,884	4.8	12,324	14.1	11,908	14.8	8,238	16.0
2020年3月期第3四半期	75,259	1.7	10,798	9.1	10,373	11.9	7,101	14.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7,377百万円 (4.3%) 2020年3月期第3四半期 7,072百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	183.84	182.88
2020年3月期第3四半期	165.35	164.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	97,689	72,383	73.8	1,585.81
2020年3月期	84,337	60,401	71.3	1,371.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 72,065百万円 2020年3月期 60,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		31.00	61.00
2021年3月期		33.00			
2021年3月期(予想)				36.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,500	4.6	15,700	11.2	15,100	11.0	10,500	8.2	234.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	46,110,710 株	2020年3月期	44,524,110 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	666,531 株	2020年3月期	679,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	44,811,759 株	2020年3月期3Q	42,946,369 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

なお、決算説明資料は2021年2月9日付で当社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発令され、社会・経済活動が急速に停滞し、極めて厳しい状況となりました。段階的な経済活動の再開があったものの、緊急事態宣言の再発令などにより新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、国内外ともに経済の下振れリスクを内包した状況で推移しました。

当社グループの事業とかわりの深いパソコン及びデジタル機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、家電量販店等の営業自粛は解消され、法人チャンネルでの展示会も再開されております。一方で、テレワークの普及によりパソコン関連機器の需要は引き続き高い状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、「“ライフスタイル・イノベーション”ービジネスライフやホームライフにおいて、より快適で豊かな新しい価値を創造し、お客様に喜びを届ける」というスローガンを掲げ、従来のパソコン・デジタル関連製品にエンベデッド、ヘルスケア・医療、VRなどの新領域の製品を拡充した幅広い分野で付加価値の高い新製品を投入し、積極的な需要の喚起を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク需要の拡大に対応した商品調達・販売戦略の推進に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は78,884百万円（前年同四半期比4.8%増）となり、営業利益は12,324百万円（前年同四半期比14.1%増）、経常利益は11,908百万円（前年同四半期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,238百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

品目別の概況は、次のとおりであります。なお、当社グループはパソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、商品区分である品目別で概況を記載しております。

(パソコン関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの普及により、パソコン関連機器の需要が高まった結果、パソコン関連に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は、24,948百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

(スマートフォン・タブレット関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等の影響により需要が減退した結果、スマートフォン・タブレット関連に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は、13,448百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

(TV・AV関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの普及により、ヘッドセット等のAV関連機器の需要が高まった結果、TV・AV関連に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は、15,202百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

(周辺機器)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等の影響により需要が減退した結果、周辺機器に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,877百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

(その他)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、除菌関連等のヘルスケア製品の需要が高まったほか、GIGAスクール関連製品の需要が高まった結果、その他に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,406百万円（前年同四半期比23.8%増）となりました。

〔品目別連結売上高実績〕

(単位：百万円、%)

品目区分	2020年3月期第3四半期		2021年3月期第3四半期		前期比 増減率
	金額	百分比	金額	百分比	
パソコン関連	19,787	26.3	24,948	31.6	26.1
スマートフォン・タブレット関連	15,220	20.2	13,448	17.1	△11.6
TV・AV関連	14,160	18.8	15,202	19.3	7.4
周辺機器	20,918	27.8	18,877	23.9	△9.8
その他	5,173	6.9	6,406	8.1	23.8
合計	75,259	100.0	78,884	100.0	4.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ13,351百万円増加し、負債は1,369百万円増加、純資産は11,982百万円増加となりました。

総資産の主たる増加要因は、現金及び預金が5,715百万円、受取手形及び売掛金が3,282百万円、有価証券が1,714百万円増加したことによるものです。負債の主たる増加要因は、未払法人税等が845百万円、賞与引当金が625百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が2,056百万円増加したことによるものです。純資産の主たる増加要因は、利益剰余金の増加や新株予約権の行使による株式の発行により、株主資本が12,780百万円増加したこと等によるものです。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果増加した資金は5,948百万円（前年同四半期は5,875百万円の増加）、投資活動の結果減少した資金は4,562百万円（前年同四半期は2,659百万円の減少）、財務活動の結果増加した資金は4,477百万円（前年同四半期は247百万円の減少）となり、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ5,715百万円増加し、43,081百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年6月5日付「2021年3月期連結業績予想および配当予想の公表に関するお知らせ」において公表した数値から変更しております。2021年2月9日付で公表いたしました「通期業績予想の修正、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正（増配）並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,365	43,081
受取手形及び売掛金	18,365	21,648
有価証券	7,186	8,901
商品及び製品	8,181	9,776
仕掛品	180	453
原材料及び貯蔵品	1,304	1,555
その他	1,657	918
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	74,240	86,331
固定資産		
有形固定資産	4,718	5,162
無形固定資産	1,319	1,692
投資その他の資産	4,059	4,503
固定資産合計	10,097	11,358
資産合計	84,337	97,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,323	11,379
電子記録債務	2,977	3,343
短期借入金	500	500
未払法人税等	2,433	1,587
売上値引等引当金	1,065	1,095
返品調整引当金	418	447
賞与引当金	1,317	691
その他の引当金	132	160
その他	3,923	4,190
流動負債合計	22,091	23,396
固定負債		
退職給付に係る負債	1,539	1,633
その他の引当金	12	15
その他	292	261
固定負債合計	1,844	1,910
負債合計	23,936	25,306

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,904	12,577
資本剰余金	8,958	12,655
利益剰余金	42,708	48,088
自己株式	△1,602	△1,572
株主資本合計	58,968	71,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	496
繰延ヘッジ損益	752	△173
為替換算調整勘定	193	16
退職給付に係る調整累計額	△34	△21
その他の包括利益累計額合計	1,178	317
新株予約権	247	309
非支配株主持分	7	8
純資産合計	60,401	72,383
負債純資産合計	84,337	97,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	75,259	78,884
売上原価	45,990	47,800
売上総利益	29,269	31,083
返品調整引当金繰入額	2	28
差引売上総利益	29,267	31,055
販売費及び一般管理費	18,468	18,730
営業利益	10,798	12,324
営業外収益		
受取利息	117	20
受取配当金	31	36
為替差益	—	97
仕入割引	1	4
補償金収入	2	2
受取保険金	15	0
その他	51	39
営業外収益合計	219	201
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	559	583
為替差損	70	—
その他	14	33
営業外費用合計	645	618
経常利益	10,373	11,908
特別利益		
投資有価証券売却益	20	0
新株予約権戻入益	6	—
特別利益合計	26	0
特別損失		
固定資産除却損	25	9
事業整理損	—	3
会員権評価損	1	—
投資有価証券評価損	54	—
特別損失合計	81	12
税金等調整前四半期純利益	10,318	11,895
法人税、住民税及び事業税	3,034	3,395
法人税等調整額	182	261
法人税等合計	3,217	3,657
四半期純利益	7,100	8,238
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,101	8,238

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	7,100	8,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	230
繰延ヘッジ損益	△85	△926
為替換算調整勘定	△36	△177
退職給付に係る調整額	6	13
その他の包括利益合計	△27	△861
四半期包括利益	7,072	7,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,073	7,377
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,318	11,895
減価償却費	1,491	1,390
受取利息及び受取配当金	△148	△57
支払利息	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,815	△3,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	△706	△2,121
仕入債務の増減額(△は減少)	511	2,721
引当金の増減額(△は減少)	△329	△446
その他	146	258
小計	9,467	10,162
利息及び配当金の受取額	148	57
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△3,739	△4,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,875	5,948
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,081	△1,390
無形固定資産の取得による支出	△238	△834
有価証券の取得による支出	△1,396	△2,131
投資有価証券の取得による支出	△15	△17
その他	73	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,659	△4,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	56	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,044	7,311
自己株式の処分による収入	140	26
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,487	△2,858
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	4,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	△147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,927	5,715
現金及び現金同等物の期首残高	26,356	37,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,283	43,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使により、資本金が3,673百万円、資本準備金が3,673百万円増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が12,577百万円、資本準備金が12,548百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について、当第3四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は2021年2月9日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2021年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	46,110,710株
今回の株式分割により増加する株式数	46,110,710株
株式分割後の発行済株式総数	92,221,420株
株式分割後の発行可能株式総数	181,152,000株

③分割の日程

基準日公告日	2021年3月16日
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年4月1日

④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり四半期純利益	82円68銭	91円92銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	82円40銭	91円44銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年4月1日をもって、当社定款第6条で定める発行可能株式総数を変更いたします。

②定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。(下線部は変更部分)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>90,576,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>181,152,000株</u> とする。

③定款変更の日程

効力発生日 2021年4月1日

(4) その他

①資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

②新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2021年4月1日以降、以下のとおり調整いたします。

新株予約権の名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第4回新株予約権	3,002円	1,501円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。